

## 策定調整会議 議事概要

**出席：**秘書広報課、危機管理課、元気創造政策課、財政課、総務課、総合窓口課、  
社会福祉課、障がい福祉課、長寿福祉課、環境政策課、農林課、商工観光労政課、  
都市計画課、道路・河川課、土木管理課、交通政策課、上下水道課、幼児課、  
スポーツ文化・振興課

**欠席：**自治振興課、税務課、農業委員会、子育て応援課 計23課

### ○住生活基本計画の内容について

#### 交通政策課

アンケートの結果で交通に関する意見が多く見られた。今回の住生活基本計画として、交通についてどこまで載せるのか、そもそも載せないのか、意見を伺いたい。

#### 住宅課

交通以外にも公園についての意見も多々あった。ただ、住生活基本計画は住宅分野の上位計画なので、市民意見を無下にするわけではないが、交通については交通の計画、公園については公園の計画というそれぞれの個別計画で対象とすべきと考える。アンケート結果として出たから必ずしも記載していくというものではないと考えている。

### ○方針の内容について

#### 環境政策課

資料p39で「脱炭素社会に向けた長寿命化の促進・空家対策等」とあるが、脱炭素と長寿命化、空き家対策がどう関連するのか。

#### 住宅課

現行計画でも環境負荷の軽減について触れている。これまでのスクラップ・アンド・ビルドは環境への負荷が大きいため、既存ストックを活かすことでそうした負荷を軽減していくという意味合いで記載している。

#### 幼児課

p39で「子育てしやすい住環境」とあるが、具体的にどのような環境を目指すのか。三世帯同居か、近居か、そうした表現を具体的に記載したほうが、市がどのような姿を目指しているのかが伝わるのではないかと。

市営住宅について、家族向けの部屋が主だと思うが、現在の入居者は単身が多いように思う。制度的な見直しもできるのであれば、記載してもいいのではないかと。ポイントについては具体的に記載していくほうが良いと思う。

## 元気創造政策課

今は具体の施策を進める上で行革を踏まえて進めていくという意味も込めて柱に掲げているように思うが、具体的な施策に共通する項目を柱としたほうがいいのではないか。

## 住宅課

行革という言葉では縦断的なイメージのように思う。横断的なイメージになるように表現は検討したい。

## ○既存ストック活用について

### 住宅課

既存ストックについて、最近、空き家を福祉サービスの施設や高齢者のシェアハウス等利用している話を聞く。栗東市では、そうした施設として利用する必要があるのか、または既存施設で十分に賄えているのか、意見をいただきたい。

公営住宅等運営委員会で市営住宅の空き室を福祉的な利用ができないかという議論があった。住宅課としては福祉部局の働きかけが必要と思っているが、双方が連携してできることであれば、協力していきたいと思っている。

### 長寿福祉課

第7期の計画を策定中である。高齢者の居場所について言えば、サービス付き高齢者向け住宅の活用も1つだが市が関与できるものではない。次期計画にも公営住宅のことや空き家の利活用のことも記載していく。

1 から建築ではやはり費用がかかるので、新規に事業を始めようと考えている者に対して、既存の建物の活用について情報提供していくことはできると考える。

その他に、地域の住民が主体的に活動に取り組むことが重要と考えている。まずは地域の方に取り組んでもらうような手助けを進めている。地域の活動は自治会館やコミュニティセンターがメインになっていると思うが、空き家を活用できるのであれば、住宅課にも相談していければと思っている。

### 障がい福祉課

障がい者の方について、親が亡くなったあとの住まいの問題がある。

補助については、現状は国の補助金に合わせて補助要綱を整備している。施設は民設・民営なので、活用できる空き家の情報があれば事業者に提供していくことはできると思う。

### 住宅課

空き家所有者の話を聞いていると、福祉的に使ってほしいという意向を持っている人が一定数いる。今はマッチングが滞っている部分もあるが、情報共有していく環境を整えば、民間でも今までと違った流れができると思う。

## ○福祉分野との連携について

### 幼児課

住宅部局の計画で福祉との連携について記載してあるが、福祉部局の計画においても触れておいた方がいいのではないか。今のままでは思いが一方通行な気がする。実際に空き家が利活用できるかは別の話として、福祉部局の計画でも記載しておいたほうがいいように感じている。

## ○世帯構成の考え方について

### 住宅課

地方創生の中で三世帯同居を目指す等の話になっているのか。

### 元気創造政策課

国の方では示されていない。市でもそうした話が出ていない。

総合戦略について、広く意見を聞きながら策定を進めていく。その中で三世帯同居についても意見をいただきながら議論していければと思っている。

### 住宅課

三世帯同居という点に関連して、開発の中でワンルームを規制してきたことを見ても単身世帯を優遇してこなかったような経緯もある。今後の社会を見据えて見直していくという議論が総合計画策定時にあったか。

### 総務課

当時計画策定に関わっていたが、見直しについての議論は出ていなかった。

## ○新しい生活様式について

### 幼児課

コロナの関係でリモートワークが盛んになり、都市から地方への移住という話がでてきている。栗東市は交通の便もいいので、コロナが収束するかどうかはわからないが、そうした移住者を受け入れる住宅施策がこれから求められるのではないかと。そこに空き家対策も絡めていけるかもしれない。

### 住宅課

どういう形で収束するかわからないが、新しい生活様式は大きく変わらないように思う。在宅勤務、リモートワークに対応した住宅という視点は重要だと思う。

## ○補助制度について

### 住宅課

資料 p 37 の満足度が低い項目にもあるように、例えば住宅のリフォーム補助は他市と比べて充実しているとは言い難い。財政的に余裕がない中で難しいことかもしれないが、リフォーム補助を通じて移住を進めている自治体もあることを踏まえて、今のままでやむを得ないのか、もう少し何らかの施策をうっていくべきなのか、意見をいただければと思う。

人口ビジョンを見ると、社会移動が多い。補助制度について他市との比較も必要かと思うが、人口流出を抑制するための呼び水になるような手立ても必要ではないかと思う。

### 幼児課

個人に対する補助金とそれ以外の支援がある。これまで財政難で補助金の支出は難しかった。今後もそれは変わらないように思う。個人への補助金と併せて環境づくりへのサポートも行っている部分もあるので、それは見せたほうがいい。